

自然豊かな平石で  
元気な**体**と豊かな**心**を  
はぐくむ保育

社会福祉法人 わたり福祉会

さくらみなみ保育園

# さくらみなみ保育園 保育方針（ねらい）



- ◎ 健康で意欲的な生活ができる子ども
- ◎ 自然や物事への感動・驚き・疑問を大切にし、表現できる子ども
- ◎ 自分のことは自分でやり、考えて行動できる子ども
- ◎ 友だちとあそび、友だちと一緒に力を合わせて行動できる子ども
- ◎ 地域の伝統文化に学び、高齢者との交流をとおして豊かに育ち合える子ども

## 自然の中で丈夫な体を作ります

保育園の周りには、川や山、田んぼや畑がたくさんあります。全クラス毎日のように散歩に出かけています。赤ちゃんは草地や斜面でハイハイをして発達を促し、そこで初めての花や虫たちと出会います。幼児クラスの子どもたちは、親子遠足で保育園から城山まで歩きます。長い距離を歩く力がつき、丈夫な足腰が育ちます。



これ  
なんだろう？

# 平石には 自然がいっぱい！！

「ゆうびんやさん  
の  
おとしもの♪」



## 自然は子どもの興味と関心をふくらませ、 挑戦する脳を育てます

春はテントウムシやダンゴムシ、夏はオタマジャクシ、カエル、ザリガニ。秋になるとたくさんのバッタやカマキリ、トンボ探しに夢中になります。冬は雪が積もった畑でソリすべり。季節ごとに移り替わる平石の自然を体中に感じながら成長します。例えば「オタマジャクシ、どうやったらつかまえられるかな」等、自然と関わる中で、考え、試し、また挑戦する、を繰り返しながら、仲間と共に賢い脳をつくります。

「はたけでカエル  
みつけたよ」



# 好奇心や発見が大事

# 散歩の中にも物語があります

散歩は、交通ルールを覚えるために歩いているだけではありません。季節ごとに草花や実、虫が違ふことに気付いたり、“何か”をさがしに探検に出かけたりする中で、子どもたちはイメージの世界も楽しんでいます。「もしかして、ここにへなそうのたまごあったんじゃない?」「これ、なんのあしあとかな?あやしい...」「ずかんでしらべよう!」というように、想像を膨らませながら、物語の世界に夢中になって遊ぶことができます。



# 自然の中で元気に遊べる体づくり

## 【具体的な取り組み】



- 1、早寝早起きの取り組み
- 2、メディアが与える影響について考える
- 3、田畑で育てた米や野菜を食べる  
(栽培活動と食育)
- 4、伝統文化に取り組み、元気な体と心を育てる

# 1、早寝早起きで元気な体づくり

## 今年度新しい取り組み

昔から『寝る子は育つ』という言葉があります。睡眠は子どもの心身の発達に欠かせないものですが、保護者の働き方が多様化する中、現代社会においては子どもたちの生活リズムが夜型にシフトし睡眠時間が不足しがちです。

睡眠は体の回復のために必要なのはもちろんのこと、脳をつくり、育て、守るために欠かせません。子どもの生活リズムを24時間で考え、「20時に寝て6時に起きる」生活を目指します。

子どもの生活リズムは24時間で  
考えます。  
園でのお昼寝も大事です。



朝から大好きな泥団子作り。  
「サラサラのすなかけるんだよ」



### 【早寝早起きの取り組み】

- ①保護者と保育士が睡眠の必要性について懇談会で学習します。
- ②子どもの生活リズムアンケートを実施します。
- ③なぜ早寝早起きが大事なのか、子ども自身も考えます。
- ④朝の登園と同時に太陽のもとで外遊びを実施します。



## 2、メディアの影響について考える

今年度新しい取り組み

メディア環境の発達や変化は、子どもたちの生活にも影響を与えています。日本の子どもたちは、世界一長い時間メディアに触れて生活しているといわれています。

便利な一方、長時間利用による視力低下や、部屋にこもって一歩も動かず、人と言葉を交わさずに過ごすこと等での心の発達への影響が懸念されています。

メディアなどの画面をとおして育ってきた子どもたちは、どのくらい対話しているのでしょうか？自然の中で育つ子どもたちは、たくさん考え、対話しながら前頭葉を発達させていきます。

乳児から幼児クラスまでたくさん散歩に出かけます。好奇心いっぱいの子どもたちは自然の中で色々な発見をします。



ザリガニいるかな～



### 【メディアの影響について考える取り組み】

- ① 保護者と保育士がメディアの影響について学習します。
- ② 平石地域の豊かな自然の中で、朝から夕方まで、友達と一緒に体を動かして遊びます。

### 3、田畑活動で育てた米や野菜を食べる

保育園の目の前に広がる田んぼで、毎年田植えと稲刈りを行います。地域の方々の協力により、米が育つ過程を実体験の中で知っていきます。また、年間を通して畑の野菜作りにも取り組み、収穫した新鮮な野菜を使って、かぼちゃクッキーや、みそ汁作りなど、年齢に合わせたクッキング活動に取り組んでいます。

年長児になると、味噌汁に入れる味噌もみんなで時間をかけて手作りし、毎日米とぎも自分たちで行います。食は丈夫な体づくりの基本です。給食は、安全安心の国産・低農薬・地産地消にこだわっています。

毎年10月に、地域のお米名人やお父さんたちに手伝ってもらいながら『稲刈り』をします。



今年度新しい取り組み  
みそ作りに挑戦!!  
みそ豆を植えました。



### 【栽培活動と食育の取り組み】

- 地域の方とともに田畑の栽培活動に取り組み、育つ過程→収穫→食べるという直接体験を大切にします。
- 地産地消で、おいしいものを食べて、健康な体づくり。収穫したものをを使ってクッキング活動に積極的に取り組みます。

## 4、 伝統文化を通して丈夫な体と心を育む

『本物の文化に触れる』は、子どももおとなも大切にしていることの一つです。プロによる本物の日本の伝統文化鑑賞を保護者とともにしたり、実際に自分たちが体験する中で、豊かな体と心を育みます。

毎年年長児になると取り組む“和太鼓”と民舞“荒馬踊り”は、年齢の小さな子どもたちにとってまさに憧れの的。難しいリズムやステップがかっこよくできるようになりたくて、年長児は熱心に取り組めます。保育士も研修を受け、子どもたちの指導をしたり、夏祭りなどで太鼓を披露しています。

## 『荒馬』のワークショップ

「よつとびがいちばんむずかしいんだよね」  
「じょうずになってきたよ」



## 和太鼓『こども太鼓ばやし』

例年12月頃から取り組んでいた太鼓。  
今年度は6月にワークショップを行い、1年間を  
通しての取り組みにします。



### 【伝統文化に触れる取り組み】

- 伝統文化鑑賞会を開き、本物の文化に直接触れることを大切にします。
- ワークショップを行い、和太鼓や民舞に取り組む中で、丈夫な体を作ります。

自然豊かなこの平石の特性を生かしながら、四季折々の遊びや栽培、文化的な活動に取り組むことで、元気な体と心を育てていきます。また早寝早起きやメディアが子どもに与える影響を学び、保護者と保育士が手をつないで、子どもの健康を考えていきます。



おいでよ！平石へ！！